

一液湿気反応硬化型 内・外装タイル用弾性接着剤

ネオピタ #99

官民共同研究品質基準適合品

環境対策品

JAIA F☆☆☆☆



ネオピタ #99

- ネオピタ#99は、ウレタン樹脂の持つ高弾性とエポキシ樹脂が持つ接着性を高い次元で発揮するウレタン・エポキシ樹脂系弾性接着剤です。
- 従来の変成シリコーン・エポキシ系樹脂と比較して、より高弾性な物性が得られ、耐水、耐アルカリ性にも優れた性能を持っています。
- 厚生労働省指針値策定物質（13物質）や有機溶剤を使用していません。



独自に開発した「ウレタン・エポキシ系」の1成分型弾性接着剤

新開発の特殊ウレタン・エポキシ系樹脂は、従来のエポキシ系接着剤が有する高い接着性とウレタン系接着剤が有する弾性を高次元で発揮します。

「接着性&伸び」を両立させた高い物性を発揮します

特殊ウレタン・エポキシ系樹脂を主成分としており、硬化皮膜に高い弾性（伸び性）を有し耐久性に優れています。タイルと各種下地に対して高い接着性を有しています。

官民連帯共同研究品質基準に適合します

「官民連帯品質基準」の各項目の基準値をクリアします。

熱や水（アルカリ水）にも高い抵抗性を示し安定した物性を発現します

従来の変成シリコーンエポキシ系と比較し安定した性能を発揮します。

1成分形のため混合攪拌が不要で作業性が良好です

1成分形湿気硬化タイプですので主剤と硬化剤を混合する必要がなく作業性が良好です。

空目地対応も可能です

接着剤自体に耐候性があり、タイル目地モルタル詰めめの工程が省略できます。

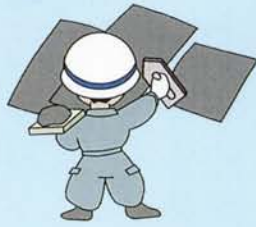
厚生労働省指針値策定物質（13物質）や有機溶剤を使用していません

厚生労働省指針値策定13物質（VOC）を含有しておらず、ホルムアルデヒドの発散等級は使用制限のないF☆☆☆☆等級です。（JAIA F☆☆☆☆）

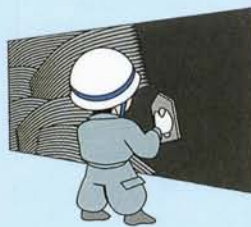
アルミフィルムパックで使用後の廃材量が削減できます

ジャンボフィルムパックの採用で、使用後の廃材量が大幅に削減できます。廃材は、焼却処理が可能な廃プラ扱いとなります。

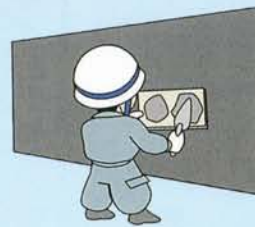
空目地仕上げ



1. 塗り付け



2. 平滑面に仕上げる



3. 点付け



4. 張り付け

目地詰め仕上げ



1. 塗り付け



2. クシ目



3. 張り付け



4. 目地詰め

[使用方法]

- 下地は、平滑で浮きやひび割れ、段差や目違いがなく接着を阻害する油分や汚れがないことを確認して下さい。
- コンクリート下地は、濡れ色の湿潤状態を示さなくなるまでよく乾燥して下さい。
- 欠損や、ひび割れがある場合は必ず補修し、型枠剥離材やレイタンスは除去して下さい。
- タイル割付図面に従って予め墨出しを行って下さい。
- 接着剤を下地前面に対してよくなじませ均一に塗布した後、クシ目ゴテを用いしっかりクシ目を立てて下さい。空目地仕上げの場合は、クシ目ゴテで伸ばした後平滑に仕上げて下さい。
- 接着剤塗布後、タイル・仕上げ材の張り付けを直ちに行い、接着剤の可使用時間内に張り終えるようにして下さい。

夏 季	冬 季
30分以内	60分以内

- タイル・仕上げ材の張り付けは、目地の通りを見ながらもみ込むようにして、十分に押さえつけて圧着して下さい。
- 目地通しは接着剤が硬化する前に行って下さい。
- 目地詰めは、接着剤が硬化した後に行って下さい。

[使用上の注意]

- ジョイントテープ、防水テープ、防水紙は必ずブチルゴム系を使用して施工して下さい。
- 塗りが厚くなると、硬化速度が遅くなりますので十分に養生して下さい。
- 他社製品との混合及び、水、骨材等、異物との混合使用は出来ません。また、同時施工する場合は、他社の接着剤が硬化した後、施工して下さい。
- アルコールと反応すると、硬化不良を起こす場合があります。硬化時にアルコールを発生させるシリコン系や変成シリコン系のシーリング材、接着剤等との同時使用は、絶対に避けて下さい。
- タイル等にネオビタ#99が付着した場合、ウエス等を用いて硬化前に拭き取って下さい。完全硬化後はシンナー等を用いても除去が困難です。
- 気温5℃以下での施工は十分な性能を発揮できませんので、ご使用は避けて下さい。
- 火気の近くでは、使用しないで下さい。
- 作業中の換気は、十分に行って下さい。
- 開封後は速やかに使い切ってください。密封状態で保管しても硬化が進行することがあります。
- 接着剤の塗布不足は、十分な接着力・弾性力・耐久性が得られず、剥離事故の原因となります。
- 施工後、紫外線等により色あせする場合があります。
- 下地精度が仕上がりに大きく影響しますので、平滑(2mにつき±2mm以下)に仕上げ、下地に付着しているエフロ・レイタンス・油脂分・ホコリ・ゴミ等は除去して下さい。

[取扱い上の注意]

- 皮膚に付いた場合は、直ちにウエス・白灯油等で拭き取り石鹸でよく洗って下さい。
- 目に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師の診断を受けて下さい。
- 蒸気を吸入し、気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けて下さい。
- 飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 作業の状況に応じて、保護手袋・保護メガネ・保護マスク等を着用して下さい。
- 作業後の道具の清掃は、接着剤が硬化する前にウエス・白灯油等で速やかに拭き取って下さい。

【性 状】

		性 状 (代表値)		
外観・色調		ベース状 ブラック	ベース状 グレー	ベース状 ホワイト
主成分		特殊ウレタンポリマー		
粘 度 (Pa.S) ※		4900		
チクソINDEX		6.8		
硬化性 (タックフリータイム) (分)	23℃50%RH	90		
	30℃95%RH	30		
比 重		1.5		
加熱減量		5以下		

※BSローターNo.7 1rpm/10rpm

【官民共同研究に基づく接着試験結果】

■ 接着強さ

	試験結果 (代表値)		判定基準	
	接着強さ (N/mm ²)	破壊の位置	接着強さ (N/mm ²)	破壊の位置
標 準	1.12	A100	0.60以上	凝縮破壊率 75%以上
低温硬化	0.94	A100	0.40以上	凝縮破壊率 50%以上
アルカリ温水	1.13	A100	0.40以上	凝縮破壊率 50%以上
冷熱水中繰り返し	0.82	A100	0.40以上	凝縮破壊率 50%以上
熱劣化	2.19	A100	0.40以上	凝縮破壊率 50%以上

【試験条件】

- 被着体 下地:モルタル(70×70mm)
タイル:磁器質タイル(45×45mm)
- 塗 布 クシ目ゴテ:5mm山5mmピッチ
- 破断状況 すべて接着剤の凝集破壊
- 接着強さ養生条件
 - ・標準養生:20℃65%RH28日
 - ・低温硬化:5℃28日
 - ・アルカリ温水浸せき:60℃水酸化カルシウム飽和水溶液7日
 - ・冷熱水中繰り返し
20℃浸せき4H→-20℃気中4H
→80℃気中16H/サイクル×20サイクル
 - ・熱劣化:80℃14日

■ 皮膜物性 (代表値)

	試験結果 (代表値)		判定基準	
	引張強さ (N/mm ²)	伸び (%)	引張強さ (N/mm ²)	伸び (%)
標 準	1.44	250	1.00以上	30以上
高 温	1.25	220	1.00以上	30以上
低 温	1.76	190	1.00以上	30以上
熱劣化	1.47	210	1.00以上	30以上
アルカリ温水	1.25	150	1.00以上	30以上

【試験条件】

- 皮膜物性養生条件 高温:80℃、低温:-20℃ その他は、接着強さ条件と同じ。

【接着性・ズレ抵抗性】

■ 接着強さ

被着体	接着性
タイル 陶器質	○
磁器質	○
コンクリート	○
モルタル	○
押出しセメント成形板	○
ALC	○
無塗装サイディング※	○
スレート板	○
アルミ	○
SUS304	○

■ ズレ抵抗性

被着体	接着性
モザイク	○
50三丁	○
二丁掛け	○
ブリックタイル	○

※無塗装サイディングボードに関しては、事前に詳細をご確認下さい。

※輸入セメント系凝石(ブリック含)に関しましては、成形時に使用している離型剤等不明のため、接着性確認試験を行って下さい。

【製品荷姿】

製品名	ケース荷姿	色調	品番	標準価格
ネオピタ#99	2kgバック×9本/ケース	ブラック	M-1	¥26,000
		グレー	M-2	
		ホワイト	M-3	

※使用期限/製造日より12ヶ月



【用途・適用下地】

■ 主な用途

- 当社指定の木造住宅外装窯業系サイディング下地のタイル張り/詳しくは、別紙技術資料、施工の手引き等をご参照下さい。
- 内外装乾式下地タイル張り施工(天井は不適)
- 内外コンクリート・モルタル下地のタイル張り
- 押出しセメント成形板
- 大建リパース工法専用接着剤
- タイルonタイル(陶器質タイルのみ)
- 住宅用乾式工法
※本品で施工される前に接着確認試験を行って下さい。
- 剥離補修用接着剤

■ 標準使用量

- 空目地仕上げ—2.0kg~3.0kg/m²
- 目地詰め仕上げ—1.5kg~2.5kg/m²

■ 適用下地

- コンクリート
- モルタル
- 乾式下地(各種ボード類)
- FRP・エポキシ塗装面
- コンクリートブロック
- 押出しセメント成形板
- 無塗装サイディング
- ※各種塗装面・金属面・FRP・サイディング等への使用は事前に当社までお問い合わせ下さい。

●本カタログの記載内容は、技術室の資料を基に作成し、十分信頼しうるものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所・環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされますようお願い致します。●記載商品の一部内容が品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更される場合があります。●ネオピタ#99はPL保険の対象商品となっております。安心してご使用下さい。●本品の詳しい安全性につきましては、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。



DAIKEN CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.

株式会社 大建化学

TEL.0533-86-5625 FAX.0533-89-1751

E-mail info@daikenkagaku.co.jp

■販売代理店